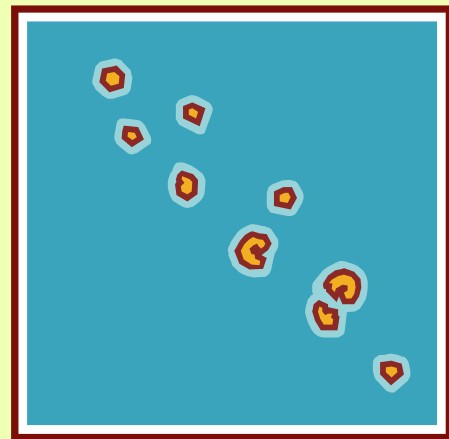


世界の国を知る 🌐 世界の国から学ぶ

わたしたちの地球と未来

 ツバル 



【表紙の写真】

(右上)

雨になると木材と石を滑らせて遊ぶ子供たち

(左下)

フナフチ環礁・ファレファトゥ島の海岸



寺澤美帆

Contents

- 01 こんな想いを込めました!
- 02 こんな教材です!
- 03 なぜツバル?

第1章 ツバルってどんな国?

=近代化と太平洋、二つの波と

ココナツ、珊瑚、笑顔の国=

- 05 ツバルはどこにあるの?
- 07 ツバルなんでも ウソ?ホント?クイズ
- 09 食べ物から見えるツバル?
- 11 ツバルの生活 ウソ?ホント?クイズ
- 13 ちょっとブレイク

第2章 へえ〜! ツバルと日本

- 15 ツバルと日本 ウソ?ホント?クイズ
- 17 ツバルと日本、収入を比べると・・・?
- 19 ちょっとブレイク

第3章 一緒に考えよう! こんな課題

- 21 「沈みゆくツバル」ってホント?
- 27 フォトギャラリー

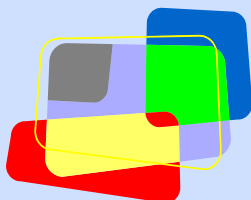
第4章 そして未来へ

- 29 未来を語ろう!

〜忘れない。日本の強さと世界の優しさ〜

★参考資料★

- 33 目で見るツバル
- 35 ツバル地図
- 37 参考文献・データ等の出典
- 37 ご協力いただいた方たち
- 37 2011年度教材作成チーム



こんな想いを込めました！

愛知万博で体験した国際交流の楽しさを広げていきたい！つなげていきたい！
そんな想いが本書作成のきっかけでした。



● 国際交流は楽しい！

『世界大交流』をうたった2005年愛知万博。120カ国の文化や生活に触れたり、いろいろな国の人たちと話をしたりすることは、とても楽しい経験でした。『国際交流』は決して難しいことではありません。自分の視野を広げ、他者を尊重する力を育むことにもつながり、そうした力は多文化共生社会を実現するためにも欠かせません。そんな国際交流の楽しさ、大切さを愛知から発信していきたいと考えました。

● 人の顔が見える教材をつくりたい！

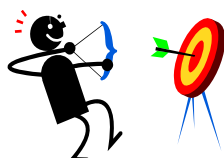
「日本ってこんな国」「日本人ってこんな人」って決めつけられて違和感を感じた経験はないでしょうか？ 国全体の概要を知ることもちろん大切ですが、何となく持っている固定概念をもしかしたら裏切るような、「へえ～。こんな一面もあるんだ」と意外に思えるような、そんな教材をつくりたいと考えました。そうすることによって、「わたしたちが世界のことをいかに知らないか」ということや「普段見聞きしている情報はほんの一面にすぎない」ということに気づいてもらうとともに、そこに住んでいる人々を身近に感じてもらえたらいいなと思います。

● 世界の国から学ぶ！

どんな国もいいところ、悪いところ、いろいろな面を持っています。何が幸せなのか、「豊か」の基準は何なのか、といった価値観もさまざまです。例えば、途上国だから「かわいそうな国」ではありませんし、紛争があるから「こわい国」でもありません。日本にもたくさん問題があります。様々な国の、特にすばらしいところを知ることによって、対等な関係をつくるとともに、自分たちの地域や生活をふりかえることができると考えました。国にも人にも文化にも優劣はないことを踏まえて、お互いに学び合える関係ができればいいなと思います。

● 未来を創るのはわたしたち！

地球はさまざまな課題を抱えています。環境や人権や平和など、日本も無関係ではありません。地球に住む一人ひとりがそれらの課題に取り組まなければ、よりよい未来を創ることはできないのです。そしてよりよい未来を創るためには、今、地球で起きていることは何なのかを知り、それが自分とつながっていることに気づくことが大切だと考えました。本書に掲載されていることは、地球で起きていることのほんの一部ですが、それらを通して感じたこと、気づいたことが未来につながっていくといいなと思います。



こんな教材です！

次のようなことを考えて作りました。

●ファシリテーター・先生用の教材です

内容については、小学校高学年以上を対象としています。本書自体は、ファシリテーター（参加型プログラムの進行役）や先生に使っていただくための教材となっています。ことば遣いなど、対象に合わせて直してください。必要に応じてコピーし、配布していただいても結構です。

●参加型で使うことができる教材です

情報・知識を聞くだけでなく、考えたり、作業をしたり、話し合ったりすることによって楽しく学べるとともに、その中で何かを感じたり、気づいたりしてもらえそうなプログラムにしました。基本的には4～6人のグループに分かれて行うプログラムになっています。必ずしも正解があるものばかりではありません。参加型のプロセスを大切にいただければと思います。

●きっかけづくりの教材です

本書で紹介したのは、ツバルのほんの一面です。本書だけでツバルのすべてがわかるわけではありません。ツバルに親しみを感じ、関心をもってもらうと同時に、自分たちの地域をふりかえり、地球的課題を考えるきっかけとして活用してください。

●使い方は自由です

とはいうものの、使い方は自由です。もちろん、最初から順番にやる必要はありません。対象に応じてプログラムの進め方を変えたり、時間的な条件によって短縮したりするなど調整することもできます。参加者にあわせて、どんどんアレンジして使ってください。巻末に参考資料を掲載していますので、最新のデータが必要なときや、もっと深めたいときは、活用してください。

●カラーデータ・写真はダウンロードできます

カラーデータ・写真については、（公財）愛知県国際交流協会のホームページからダウンロードできます。ただし、著作権は出典元または（公財）愛知県国際交流協会に帰属します。学校関係や国際交流団体等が教育の目的で非営利に使う場合に限り、活用していただけます。（<http://www2.aia.pref.aichi.jp/koryu/j/kyouzai/kyouzai.html>）

●本書の構成とマークの見方

基本的に、1項目2～4ページで掲載しており、実際に使っていただくプログラムと、それに関する説明とで構成されています。それぞれのプログラムの「ねらい」も記載していますので、参考にしてください。また、ページの下段に掲載している一口コラムは、プログラムとは関係なく、ちょっとおもしろい情報や用語の意味などです。必要に応じて活用してください。なお、本書で使っているマークの意味は次の通りです。



参加型のプログラムです。
必要に応じてコピーし、配布してください。



プログラムに関する説明です。
ファシリテーター・先生用です。



プログラムのねらいです。



ちょっとブレイク！一口コラムです。



プログラムに使う資料です。
必要に応じてコピーし配布してください。



コピーし、カード等に切り離して
使ってください。



プログラムで模造紙を使います。



プログラムでマジックを使います。



プログラムで付箋を使います。



プログラムでA4用紙を使います。
裏紙等を活用してください。



データ等の出典です。



写真の提供者です。



なぜツバル？

始まりは、2005年愛知万博「一市町村一国フレンドシップ事業」

2005年に開催された愛知万博の会期中愛知県内の市町村は、公式参加国120カ国（日本を除く）のホームシティ・ホームタウンとして、地域ぐるみのホスピタリティあふれる受入を行いました。この取り組みを「一市町村一国フレンドシップ事業」と言います。このフレンドシップ事業では次の5つのことをねらいとしました。

- 世界各地から訪れる人々に日本や日本人を理解してもらう
- 迎え入れる地域の人々に、交流を通じて、世界には多様な価値や文化があることを知ってもらう
- 万博会場内だけではなく、地域でもてなすことで、万博を相互交流を深めるための大きな舞台とする
- 地域文化を世界に発信することにより、各地域が自らの文化を再発見し、地域のあり方や発展の方向性について学ぶ機会とする
- 地域に根ざした「人」と「人」との交流を万博終了後も引き継ぎ、世界の人々をつなぐ架け橋としてさらに発展させる

この「一市町村一国フレンドシップ事業」をさらに広げ、つなげていこうと作成したのがこの教材です。
そして、ツバルのホームシティは**知多市**でした。



愛知万博／南太平洋共同館



2012年作成 予定国 (38カ国)	アイスランド共和国 アイルランド アルゼンチン共和国 アルメニア共和国 イエメン共和国 ウクライナ エクアドル共和国 オーストリア共和国 カタール国 ギニア共和国 キューバ共和国 ギリシャ共和国 グ アテマラ共和国 クロアチア共和国 コスタリカ共和国 コンゴ民主共和国 サモア独立国 ザンビア共和 国 シンガポール共和国 ジンバブエ共和国 スウェーデン王国 ソロモン諸島 タンザニア連合共和国 チ ェコ共和国 ツバル ドイツ連邦共和国 トング王国 ナイジェリア連邦共和国 ニカラグア共和国 パラオ 共和国 バングラデシュ人民共和国 ブータン王国 ブルネイ・ダルサラーム国 ブルンジ共和国 ペルー 共和国 マダガスカル共和国 モーリタニア・イスラム共和国 ルーマニア
2011年作成 (22カ国)	インド 英国 エチオピア連邦民主共和国 エリトリア国 オーストラリア連邦 ガーナ共和国 カザフスタ ン共和国 コートジボワール共和国 ジブチ共和国 スイス連邦 スペイン王国 デンマーク王国 ノル ウェ王国 バヌアツ共和国 フィリピン共和国 ブルキナファソ ベトナム社会主義共和国 ポーランド共 和国 マレーシア ミクロネシア連邦 メキシコ合衆国 ロシア
2010年作成 (30カ国)	アゼルバイジャン共和国 アンゴラ共和国 アメリカ合衆国 イラン・イスラム共和国 インドネシア共和 国 ウガンダ共和国 カナダ グルジア コンゴ共和国 サントメ・プリンシペ民主共和国 スーダン共和 国 スリランカ民主社会主義共和国 タイ王国 タジキスタン共和国 中華人民共和国 チュニジア共和 国 トルコ共和国 ネパール連邦民主共和国 パプアニューギニア独立国 フィンランド共和国 ブルガリ ア共和国 ベネズエラ・ボリバル共和国 ベリーズ ボスニア・ヘルツェゴビナ ホンジュラス共和国 マーシ ャル諸島共和国 マリ共和国 ヨルダン・ハシェミット王国 リトアニア共和国 ルワンダ共和国
2009年作成 (20カ国)	イタリア共和国 ウズベキスタン共和国 エジプト・アラブ共和国 エルサルバドル共和国 カンボジア王 国 キリバス共和国 キルギス共和国 ケニア共和国 サウジアラビア王国 大リビア・アラブ社会主義人 民ジャマーヒリーヤ国 チャド共和国 ドミニカ共和国 ニュージーランド フィジー諸島共和国 ベナン共和 国 ベルギー王国 ボリビア多民族国 モロッコ王国 モンゴル国 ラオス人民民主共和国
2008年作成 (10カ国)	オランダ王国 カメルーン共和国 ガボン共和国 セネガル共和国 大韓民国 パキスタン・イスラム共和 国 パナマ共和国 フランス共和国 ポルトガル共和国 南アフリカ共和国

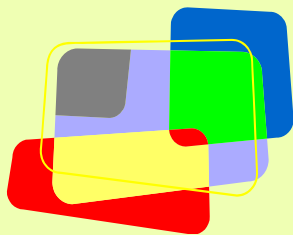


第1章

ツバルってどんな国？

＝近代化と太平洋、二つの波と

ココナツ、珊瑚、笑顔の国＝



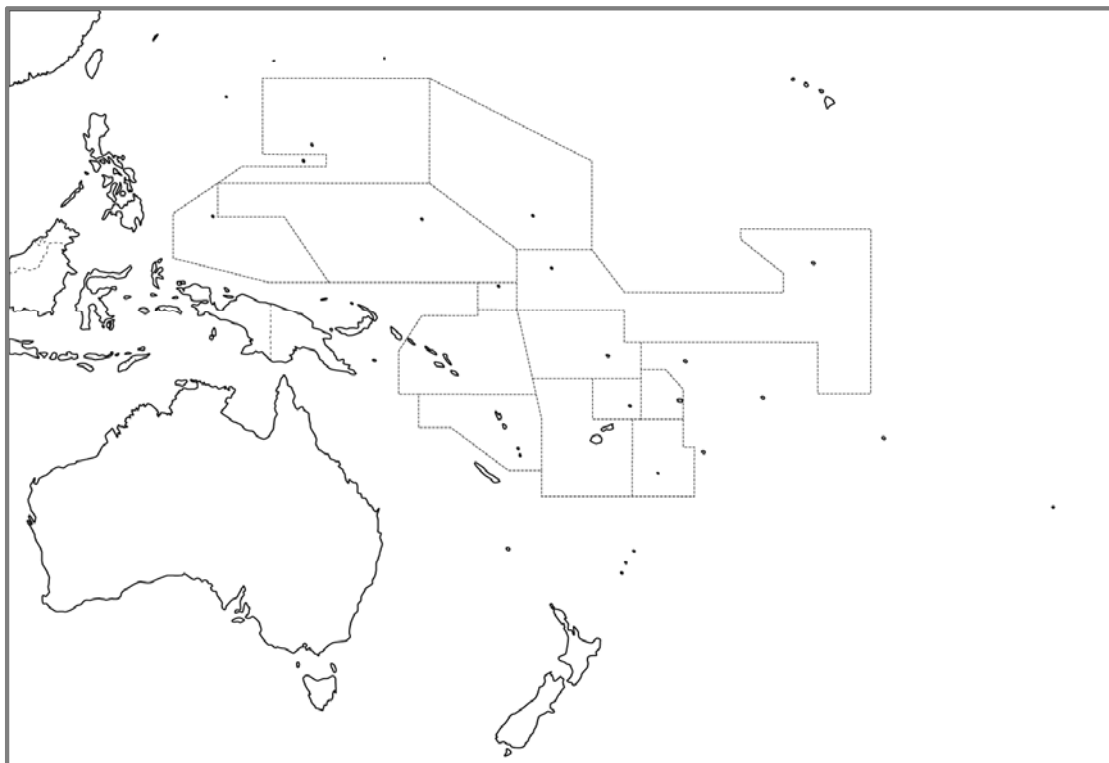
ツバルはどこにあるの？



南太平洋に浮かぶツバルという国を知っていますか？
地図を見て周囲の国々を確認しながら探してみましょう。



- ① 下記の文章を読んで、ツバルやその周辺国がどこにあるか、右下の国名カードを地図上に置いて確認しましょう。また、文中にない国名カードもあるので、もしもこれらの国々の位置も分かるようなら置いてみましょう。地図上の点線は各国の領海域と考えて、点線内にカードを置いてください。



国名カード

ツバル

ニュージーランド

キリバス

マーシャル諸島

フィジー

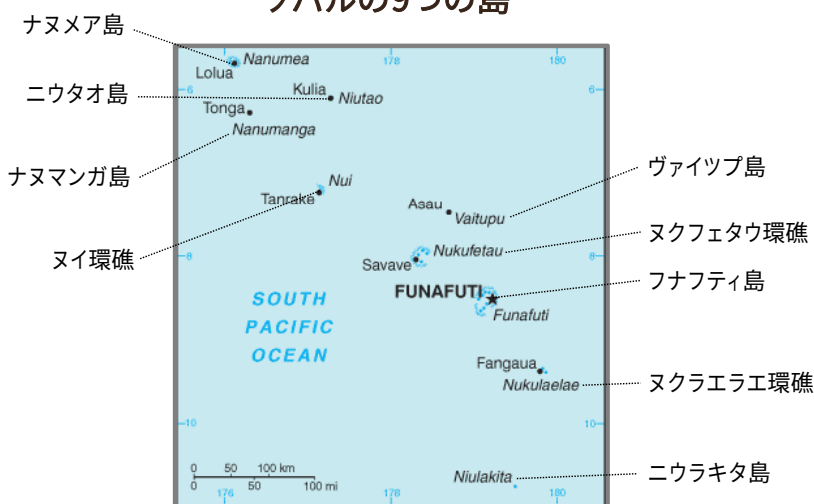
ソロモン諸島

ミクロネシア連邦

パラオ

ツバルは、日付変更線と赤道の交差点の南西に位置し、南北に連なる9つの島からなっています。ツバルを南下すると、フィジーに、さらに南に進めばニュージーランドになります。国土の総面積は9つの島を全部あわせても26km²しかありません。これは東京ドーム5.7個分で、バチカン市国、モナコ、ナウルに次いで世界で4番目に小さな国です。一番大きなフナフティでも縦12km、最大幅数100mの小さな島です。

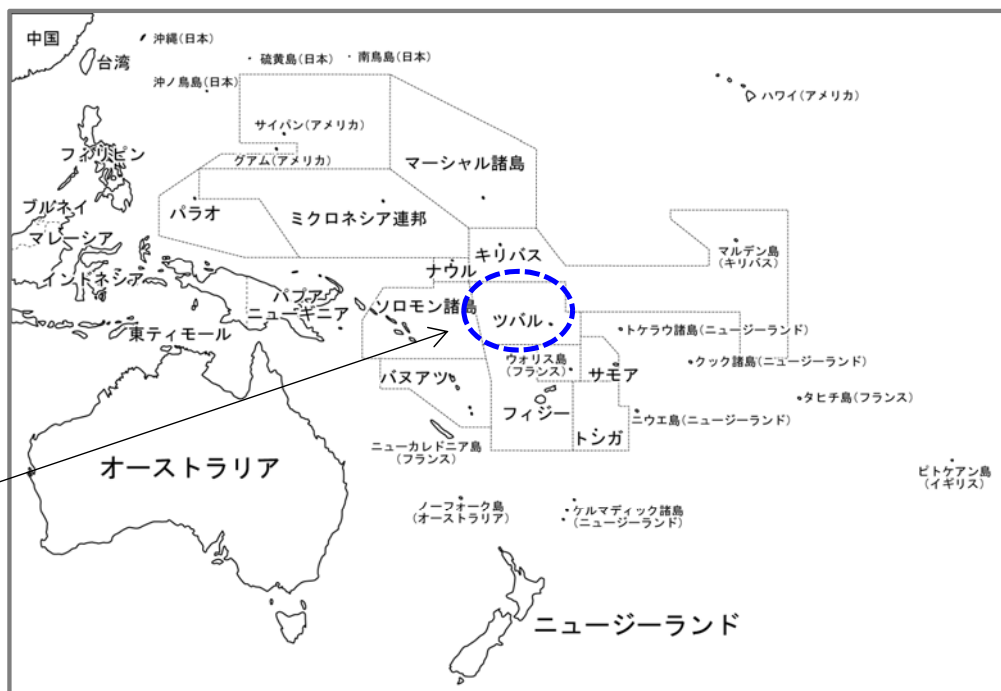
ツバルの9つの島





1

ココです！



ツバルは、オセアニアにある国家。首都はフナフティ。南太平洋のエリス諸島に位置する島国です。英連邦加盟国の一つであり、英連邦王国の一国たる立憲君主制国家です。9つの島々はおおよそ 700 km にわたる火山弧をなし、主要な島々は互いに 125 km から 150 km ほど隔たっています。

南太平洋諸島3つの文化圏

太平洋の島々は、ポリネシア、ミクロネシア、メラネシアという3つの地域に分けられます。ポリネシアとは多くの島々という意味で、大柄な人が多いと言われています。

一方、ミクロネシアは小さい島々という意味で、ポリネシアの人々に比べると体格は小柄です。

また、この2つの地域の島は、火山島（ミクロネシア連邦の東部、サモア、トンガなど）と珊瑚礁の島（ツバル、ナウル、マーシャル、パラオなど）に分けられ、火山島は肥沃な土壌ですが、珊瑚礁の島は土地がやせていて降水量も少なめです。

メラネシアは、黒い島々という意味で、太平洋島嶼国の中で面積の大きい上位4つの国からなっています。



メラネシア

ウィキペディア

太平洋島嶼国の陸地面積こそ狭いものの、地域全体の排他的経済水域は、中国の陸地面積の約2倍の広さを持っています。日本のマグロ・カツオの消費量の約8割はこの水域でとれています。

外務省HP

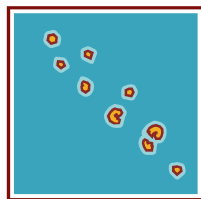
ツバルなんでも ウソ？ホント？クイズ

① クイズを通してツバルのことを知ろう！

① 国家元首は首都であるフナフティに住むことになっています。



② ツバルの人口は世界で一番少なく、5,000人くらいです。



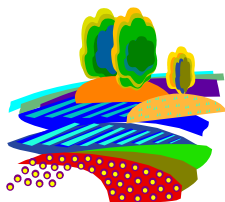
③ ツバルには国営のテレビ局があり、老若男女がテレビを見て楽しんでいます。



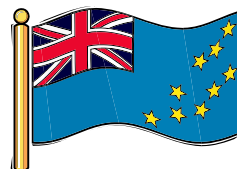
④ ツバルに水道はありません。



⑤ ツバルには山がなく、標高が一番高い所で5mに届いていません。



⑥ ツバルという国名はイギリスからの独立に由来するものです。



⑦ ツバルには軍隊があり、18歳になると兵役があります。



⑧ ツバルは、ほとんどの人がキリスト教徒です。



⑨ ツバルでは、教育への関心が高く、国内では高校まで進学できます。





- 1 ×
ウソ 英国女王を君主とする立憲君主制で、国家元首はイギリスに住むエリザベス女王です。
- 2 ×
ウソ ツバルの人口は9,929人(国際連合「世界の人口推計・2010年度版」)で、独立国としてはバチカン市国の次に人口が少なく、ミニ国家の一つです。一番大きな島フナフティは縦12km、最大幅数100m、面積2.4km²の小さな島ですが、そこには4,492人も集住しています。
 ウィキペディア
- 3 ×
ウソ テレビ局はありませんが、ラジオ局があります。テレビはみんな大好きですが、地上波がないので、衛星放送かDVDの映画やドラマを見ています。衛星放送は受信料が高いためそれほど普及していませんが、テレビとDVDプレイヤーは多くの家に普及しています。
 『笑顔の国、ツバルで考えたこと』枝廣淳子著
- 4 ○
ホント 山のないツバルには川がなく、真水が流れていないので、水は貴重なのです。
- 5 ○
ホント 山がなく、海すれすれの小さく平たい珊瑚礁でできた島の集まりです。ツバル全体での最高点は4.5 mに過ぎず、3 mを越える土地はほとんどありません。ツバルはインド洋のモルディブに次いで海拔の低い国でもあり、海拔の低さは予想される海面上昇に対して極めて脆弱であるとして問題となっています。
 ウィキペディア
- 6 ○
ホント この国名には「8つの島の人達が協力して国を作っていこう」という意味が込められていて、現地語で“tu”は「立ち上がる」、「valu」は「8」の意味です。周辺諸国・島々では、ヨーロッパ人が発見したことにちなんで付けられた名まえも数あるなか、ツバルの国名は1978年のイギリスからの独立の時に由来するものとなっています。「8つの島」とは、当時のツバルで人が住める島であった8つで、無人島となっていたニウラキタ島は、含まれていません。
 ウィキペディア
- 7 ×
ウソ 軍隊はなく警察が治安維持、救難消防の役割をしています。警察官および留置所は全有人島に配置されています。
- 8 ○
ホント ツバル人の97%は、最初にツバルで伝道を開始したロンドン宣教師会の組織であるツバル・プロテスタント教会に属しています。ツバルの人々にとって日曜日は特別な日であり、すべての人が着飾って教会へ行きます。
 国際機関 太平洋諸島センター
- 9 ○
ホント 人々の教育への関心度は高く、6歳から15歳までが義務教育で、識字率は99%に達しています。ツバルに高校はありますが、大学への進学はフィジー島へ行くことになります。ツバル唯一の国立セカンダリー・スクール(日本の中学2年～高校2年にあたる学校)モトゥフォウア・セカンダリー・スクールは、バイツブ島にあり、ツバル全国各9島の14歳から17歳約500人が寄宿舎で暮らし、島民が里親になって将来国を支えていくツバル人知識層を見守ります。卒業後は出身島に帰り、フナフティの教養課程か船員学校、海外の大学、自分の島で自給自足の暮らしをするなど多様な進路を選びます。
 国際機関 太平洋諸島センター



食べ物から見えるツバル？



ツバルの人々はどんなものを食べているかな？
また、食べ物から受け取れる人々の様子も少しだけうかがってみましょう。

- ① 次の文章は、ツバルで食べられている果実や野菜などについて説明しています。それぞれの文に該当するものの写真と名まえを下から選びましょう。

- ① 直径20cm〜30cmほどの実は、重さは2〜4kg、外側は緑色で中身は乳白色をしています。実のほとんどは食べることができ、そのまま焼くとまるで焼きイモのようです。
- ② 見たところパイナップルに似ていて、生で食べられますが、ちょっとしか食べるところがなく、もっぱらおやつです。
- ③ ふだんの食料をまかなうという意味でも重要ですが、それ以上に宴会や特別な機会の食べ物でもあります。島によっては大きさを比べる競技会もあり、競技に勝つために育て方を自分の息子にも教えない人がいるほどです。
- ④ 最も基本的な食べ物です。内部の白い果実はとても硬いのですが、よく噛むと独特の甘みが広がります。樹液を採ればカレベと呼ばれる飲料になり、それを煮詰めればカレベ・クラというメープルシロップのようなものになります。ほうっておけばすぐに発酵してお酒にもなります。

ア. ココナツ

イ. パンノキ(ブレッドフルーツ)

ウ. パンダナス

エ. タロイモ

A



B



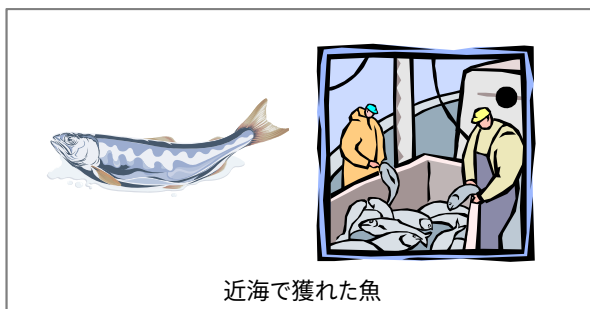
C



D



- ② 下の写真は、上記以外にツバルでよく食べられている食材です。実は、上記を含めたこれらの食材とツバルの「デキル男の条件」とは関係があるのですが、さて、その「デキル男の条件」とは何でしょう。思いっただけ出し合ってみて、理由も考えてみましょう。



近海で獲れた魚



飼育の豚と村人が育てた豚の重さを競う豚大会があります。



- ① ① **B** ウ. パンダナス ② **D** イ. パンノキ(ブレッドフルーツ)
③ **A** エ. タロイモ ④ **C** ア. ココナツ

ココナツ

ツバルの人々は、「ココナツを食べる人」と揶揄されることもあるほど、昔からココナツを最も重要な食べ物としてきましたが、今でもよく食べます。ココナツの果肉を細かく削って絞るとココナツ・ミルクができます。これは日本でいえば醤油に当たる調味料で、生の魚を食べるときや和え物を作るときなど、いろいろな料理に使われます。

また、ココナツは成熟の過程で様々に変化します。未成熟なものはココナツ・ジュースとして飲むことができ、発芽すると硬い果実がスポンジ状になってサクサクとしているので、「ツバルのリンゴ」と言われます。



▲ ココナツ・ミルク

自生する植物の葉やパンノキ、生のままの魚に混ぜるなど、ココナツ・ミルクは重宝されています。

ウィキペディア

タロイモ

ツバルでは、ココナツやパンノキをはじめとする実を手に入れるために、あまり手をかける必要はありません。自然の雨と太陽の光だけで、どんどん実をつけてくれるからです。また、植えて育てるものも、多年草や樹木が多く、四季もほとんどないので、決まった季節に決まった農作業をするということもほとんどありません。ただし、タロイモの栽培については、定期的に施肥や株分けをする必要があり、ツバルで唯一といってよい農業です。

タロイモはサトイモ科ですが、日本のサトイモとは違って粘り気はあまりありません。また、タロイモと似たものに、湿地で栽培される「プラカ」と呼ばれる作物があります。プラカは葉が2m以上、イモの部分は20kgを超えるものもあるなど、タロイモと比べてもかなり大きいイモです。



◀ タロイモの畑

右はタロイモの畑です。これよりも大きなプラカイモを収穫するときは、葉っぱも取って、芋を包んだり、料理するときの敷物にしたり、タライの蓋にしたり、色々なことに使います。

寺澤美帆

② デキル男の条件

- ① 漁ができる
- ② ヤシの木に登り、実を採ることができる
- ③ 豚の世話ができる
- ④ タロイモを育てることができる

理由

ツバルの島々の多くは自給自足の生活なので、家族を養う食べ物をしっかり自分で手に入れることができることが「男の条件」なのです。



ツバルの生活 ウソ？ホント？クイズ

❓ クイズを通してツバルの生活を知ろう！

❶ ツバルでは、結婚式や踊りにまとう衣装を村のみんなで作ります。



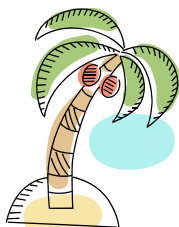
❷ ツバルには、糖尿病や痛風が深刻な問題になっています。



❸ ツバルでは島で共有の雨水地下タンクを持ち、その水を各家庭に売っています。



❹ ツバルでは漁業が盛んですが、漁網をココナツで作ります。



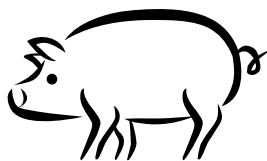
❺ ココナツの枯れ葉は、イモを栽培する際の肥料として使用されます。



❻ ココナツの葉は、料理にも使用されます。



❼ 家畜の豚を解体するときにもココナツの葉が使われます。



❽ ツバルの伝統的な家も、やはり植物の葉を使用しています。



❾ ツバルでの子どもたちは、その辺にあるもので、いろんなものを作って遊びます。





- 1 ○
ホント 踊りに使う草スカートなどを作るために、何人かで協力しながら植物の根っこなどを使って染めます。
- 2 ○
ホント 昔は体を保つ飲料はココナツで補っていましたが、今では、家庭でヤカンにたっぷりと沸かした水に、輸入の紅茶と輸入の砂糖をたっぷり溶かして飲んでいきます。大なべで砂糖ジュースを作ることもあります。砂糖が沢山入ったジュースも飲むので、糖尿病や痛風が、深刻な問題になっています。
- 3 ○
ホント 島共有の雨水地下タンクの水は、まとまった量なら、カウプレ（島役場）にお金を払えば買うことができます。ツバルでは、各家庭に1個の丸い雨水タンク(約5,000ℓ前後)に水を貯めて利用しています。1978年のイギリスからの独立後、1980年代早々に、「Save the Children」という世界的NGOが、全島全世帯雨水タンク設置工事に着手しました。その際に設置されなかった家屋にも、その後、UNDP（国連開発計画）が雨水タンクを設置しました。
- 4 ○
ホント ココナツの外皮を編んで魚網を作ります。
- 5 ○
ホント ココナツの枯れ葉を肥料とするため、束にして土に埋めます。埋める前の山積みになれたものを畑で見る事が出来ます。
- 6 ○
ホント カツオをココナツの葉に包んでの石焼きは、ツバルの代表的な料理法の一つです。
- 7 ○
ホント 豚を解体する前には、ココナツの枯れ葉で作ったたいまつで豚の毛をあぶります。ほかにも、ココナツの葉を編んでカゴを作るなど、ココナツはツバルの生活には欠かせません。
- 8 ○
ホント 家の屋根をバンダナスの葉で葺いているのがツバルの伝統的な家です。
- 9 ○
ホント ツバルの子どもたちは、木々の皮や葉、家庭にあるものなどで、日本の特撮・戦隊ものヒーローのようなお面やコスチュームを作って上手に遊びます。また、解体した豚の肺をふくらませて遊ぶなど、何でも遊び道具にしてしまいます。



久野義久



寺澤美帆



ちょっとブレイク



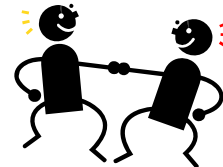
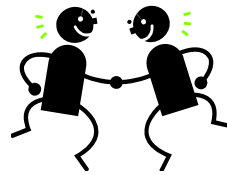
ツバル語豆知識

言葉

ツバルの人たちは、日常、ツバル語を使っていますが、小学校から英語も学んでおり、公用語にもなっているので、フナフティではたいてい英語で話が通じます。日本語はまったく通じません。

基本的なツバル語

こんにちは タロファ *talofa*
ありがとう ファカフェタイ *fakafetai*
さようなら トーファー *tofa*
ごきげんいかが? エヤコエ? *E a koe?*
(応えて) よい です マロシ、ファアフェタイ
大丈夫 マロシ *malosi*
すばらしい ガリ
お名前は? コイ・トウ・イゴア?
としはいくつ? コ・フィア・オウ・タウサガ?
なに? セア? *Se a?*
どこへいくの? コエ・ファノ・キ・フェア?
わからない セイ・ロア・ネ・アウ
ない セアイ
はい アオ *ao*
いいえ イカイ *ikai*
集会場 マネアバ
島役場 カウプレ



『キリバス・ツバル ガイドブック』 ツバル国名誉総領事館

ツバル語の不思議なところ! ? トクとタクの使い分け

「わたし」というツバル語は2種類あります。(複数形は省略)

トク

わたしの母親、わたしの父親、わたしの手、わたしの足、わたしの国、わたしの村など、自分の血族・自分の身体の一部またその場所を言うのに使うのが、「トク」です。

使い方は『自分にとって大切なもの』に使います。

わたしの母親: 「トク・マートゥア」、わたしの手: 「トク・リマ」、わたしの国: 「トク・フェヌア」

タク

わたしの仕事、わたしのお皿、わたしのお金、わたしのラジオなど、生活や身の回りのものを言う時に使います。使い方は、トクより気軽で『一般的なニュアンス』で使います。

わたしの仕事: 「タク・ガルエガ」、わたしのお皿: 「タク・ティファ」、わたしのお金: 「タク・セネ」

ところが、「わたしの子ども」(自分が産んだ子ども、養子にもらった子どもなど)は、「わたしの子ども: タク・タマリキ」と言います。「トク」を使わないのです。ツバル人は自分の子どもや他人の子どもとわけへだてなく子育てをすることから、この言葉の感覚が生まれたのでしょうか。

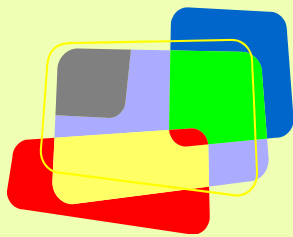


寺澤美帆



第2章

へえ～！ツバルと日本



ツバルと日本 ウソ？ホント？クイズ

① クイズに答えてツバルと日本のあれこれを考えましょう。

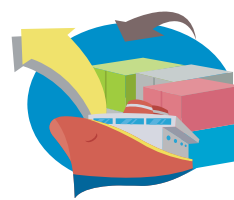
① 日本のツバルからの
主要な輸入品は、ココナ
ツなどの農産物です。



② 日本からツバルへ
の主要な輸出品は、輸
送機械などの工業製品
です。



③ ツバルの主な貿易
相手国として、日本はベ
スト3に入っています。



④ ツバルの経済協力
国として、日本はベスト
3に入っています。



⑤ ツバルは関西電力
から新エネルギーに関
する支援を受けた実績
があります。



⑥ 旧日本軍は太平
洋戦争中にツバルを占
領したことがあります。



⑦ 日本とツバルとの
国交が始まったのは、地
球温暖化が叫ばれ始め
た2000年以降です。



⑧ 塩害などの水不足
に悩まされるツバルに
は、日本政府だけでなく
日本の企業やNPOも支
援をしています。



⑨ ツバルの首都フナ
フティの年間の降水量
は東京よりも多いです。





- 1 ×
ウソ 日本がツバルから輸入しているものはマグロなどの魚介類で、2008年の貿易統計では100%が魚介類でした。
📖 国際機関 太平洋諸島センター
- 2 ○
ホント 日本からの輸出品は、工業製品がほぼすべてですが、さらにその中でも輸送機械が97.4%を占めています。(2008年貿易統計)
📖 国際機関 太平洋諸島センター
- 3 ×
ウソ ツバルの主要貿易相手国は、輸出入ともフィジー、オーストラリアなどのオセアニアの国で90%を占めています。日本との貿易関係は極めて小さく、そのほとんどがツバルへの工業製品の輸出となっています。(2008年貿易統計)
📖 国際機関 太平洋諸島センター
- 4 ○
ホント 日本のツバルへの無償資金協力、技術援助などの経済協力実績は2009年には774万米ドルあり、2001年からオーストラリアやニュージーランドを抜いて1番の援助国になっています。支援内容は、港湾などのインフラ整備、人材育成、気候変動への対応などです。
📖 外務省HP
- 5 ○
ホント ツバルからの意向を受けた関西電力が、地球温暖化に対する問題提起となればと、2008年フナフティに40KWの太陽光発電設備を建設し、運転を開始しました。これによりツバルは新エネルギー導入率がゼロから1.2%となりました。
- 6 ×
ウソ 旧日本軍が1942年にツバルの北隣、ギルバート諸島(現キリバス)を占領したのに対し、米軍が旧日本軍の南下を阻止するためにエリス諸島のフナフティなどに基地を設置しました。戦場の域外ながら、フナフティは旧日本軍の爆撃を数回受けています。ただし、島民は疎開しており、犠牲者はほとんどいなかったと言われています。
📖 関西電力プレスリリース
- 7 ×
ウソ 日本は1978年10月のツバル独立と同時に国家承認し、翌1979年4月に外交関係を樹立しています。
📖 国際機関 太平洋諸島センター
- 8 ○
ホント 1999年の日本政府の草の根無償支援で海水淡水化装置の設置をきっかけに、その後、水の給配水の支援にコスモ石油やNPO・ツバルオーバービューが参加協力しています。
📖 国際機関 太平洋諸島センター
- 9 ○
ホント ツバルの首都フナフティの降水量は年間約3,000mm、東京の年間平均降水量は過去20年で約1,500mmです。
📖 ツバルオーバービューHP
国際機関 太平洋諸島センター
気象庁HP

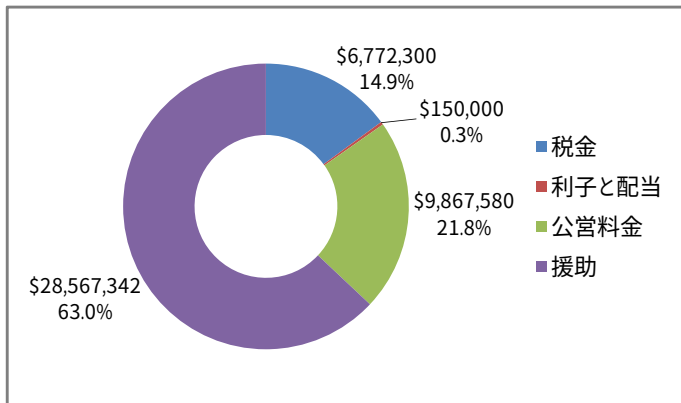
ツバルと日本、収入を比べると...？



ツバルと日本の国家収入はどうなっているのでしょうか？それぞれの国の政策を調べたり考えたりし、対策を立ててみましょう。

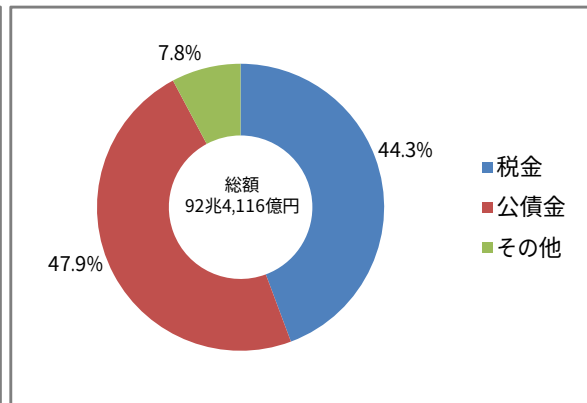
- ① 次のグラフは、ツバル（左）と日本（右）の国家収入を表したものです。二つを比べ、気づいたことをまとめてみましょう。

ツバル



Tuvalu Central Statistics Division (CSD) より、資料内で最新の2008年をもとにグラフ化したもの<単位:米ドル>

日本



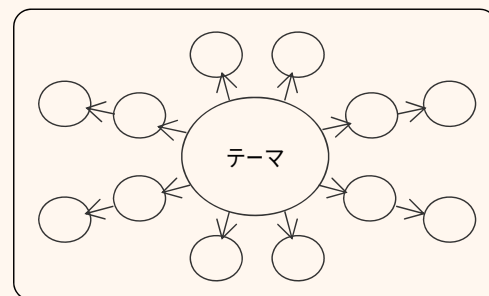
国税庁HP

- ② 国の収入を増やすためにはどのような方法があるでしょう？グループでブレインストーミング (*1) をして、アイデアを出し合ひましょう。また、出し合ったアイディアは、他のグループとも共有 (*2) しましょう。

● 手法の説明 ●

ブレインストーミング (*1)

テーマについて、思いつくことをどんどん書き出していきます。正解はありません。右の図のように派生図にすると想像が広がります。質より量が大切ですので、「こんなこと、書いてもいいのかなあ？」なんて気にしないで、気軽にどんどん出していきましょう。みんなでやるときは、出しやすい雰囲気をつくることも大切です。人の意見は否定しない。意味がわからない意見が出たら質問しましょう。おもしろい意見、はっとするような意見が出たら、ほめ合って楽しい雰囲気をつくと自分でも驚くようなアイディアが浮かびます。他の人のアイディアをもとにさらにイメージを広げてみましょう。また、いろんな角度から考えてみることも大切です。



(派生図: 記入例)

共有の手法の例: ギャラリー方式 (*2)

模造紙に書いた成果物 (グループ作業で書きこんだ紙など) を効率よく見たい時に使う手法で、グループのテーブルに成果物を広げ、お互いに自由に歩き回って見ていきます。その際、必要があれば各自で書き込みをしたり、ふせんにメッセージを書いて貼りつけたりすることもできます。

- ③ ツバルでは国の収入を増やすためにユニークな方法が行われています。インターネットなどで調べてみましょう。



日本の財政が公債金だのみなのに対し、ツバルの場合は海外からの援助が不可欠な財政状態です。2008年の為替レートで換算してみると<税金:約7億円 利子と配当:約0.2億円 公営料金:約10億円 援助:約30億円>となります。

ツバルのユニークな収入源としては、切手があります。かつては国の収入の4分の1を占めることもありました。詳しくは次のページの「ちょっとブレイク」を参考にしてください。

最近話題になったものとしては、インターネットで使うトップレベルドメイン“tv”の売却というものがあります。トップレベルドメインとは、インターネットのアドレスの最後の2文字で、日本の場合は“jp”です。ツバルはこの“tv”というドメインを2000年、アメリカの会社に5,000万米ドルで売りました。ちなみに、この年のツバルの国の収入は5,215万米ドル(出典は歳入のグラフと同じ)ですから、ほぼ国の収入くらいの価格で売れたわけです。この収入をもとにツバルは国連への加盟を果たし、温暖化による海面上昇で国が水没する危機にあることを訴え、国際的な関心も高まりました。実行はされませんでした。しかし、キリバスやモルディブとともに、京都議定書を批准していないアメリカ、オーストラリアを国際司法裁判所へ提訴するという動きもあり、注目されました。なお、この“tv”というドメインは、使用料を払うことで、個人でも使用できるそうです。

また、1987年に設立されたツバル信託基金(ツバル、イギリス、オーストラリア、ニュージーランドの拠出)の運用益も財政赤字を補てんしていました。これにより1999年のように278万米ドル(歳入の9%)の収入を得た時もありましたが、近年は国際的な経済の混迷で実質マイナス運用となっています。歳入のグラフでも、2008年は、利子と配当の項目は0.3%しかありません。なお、この基金には、日本からも50万米ドルを拠出しています。(1987年12月)





ちょっとブレイク



切手が支える国の財政？

ツバルの切手

ツバルの特産品として有名なものに切手があります。その美しいデザインと希少性から、世界の切手コレクターたちに高い人気があり、一時は国家の財政収入の4分の1を占めたこともありました。

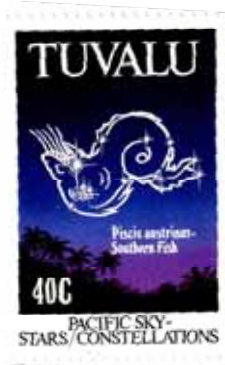
郵趣局(Philatelic Bureau)では新しい切手が出るたびに、職員総出でせっせと世界中のコレクターに発送しています。

ところで、あるコレクターによると、こうした小さな国の切手は、未使用のものより、むしろ『使用済み』の方があって珍しく、欲しがる人も多いとか。

ツバルから出す絵葉書を受け取った人は、実は知らぬ間に「世界的珍品」の所有者になってしまうでしょう。



『キリバス・ツバル ガイドブック』 ツバル国名誉総領事館



ツバルには天然資源がほとんどないため、その収入の多くは海外の援助に頼っています。主要な産業は、漁業と観光業ですが、ツバルは他の国から遠く離れた場所にあるため、あまり多くの観光客は訪れません。GDPの3分の2以上をODAに頼っています。

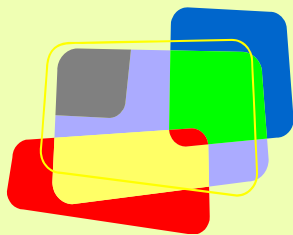
政府の財源の主なものは、切手とコインの発行、および海外で働く労働者からの送金なのです。





第3章

一緒に考えよう！こんな課題



「沈みゆくツバル」ってホント？



温暖化によって水没の危機にあると報道されるツバル。果たしてそれは真実でしょうか？

ツバルと聞くと、「温暖化によって沈みつつある国」というイメージをもっている人も多いのではないのでしょうか？果たして実際にツバルは温暖化によって沈んでいるのでしょうか？まずは、温暖化で島が沈むということについて、考えてみましょう。

「島が沈む」といった場合、その沈み方には次の3つが考えられます。

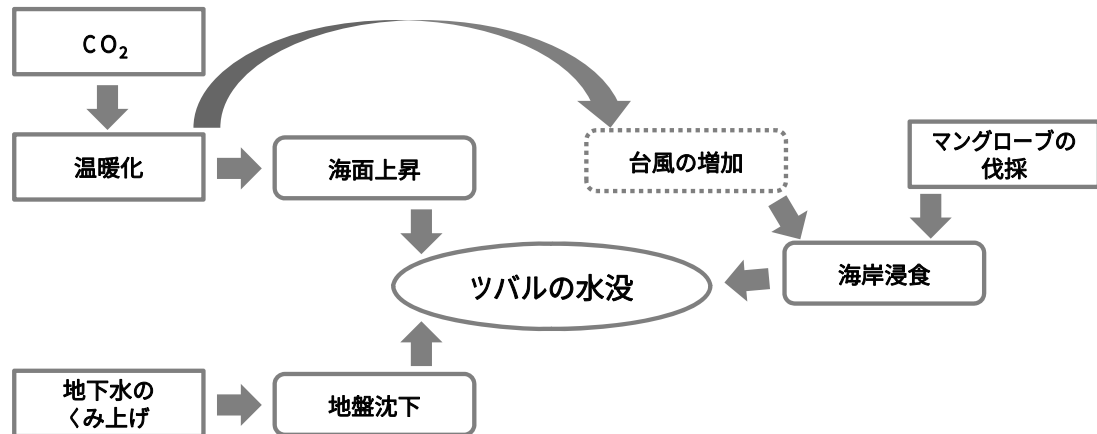
- ①海面が何らかの事情によって上がる。＜海面上昇＞
- ②島が地盤沈下などによって下がる。＜地盤沈下＞
- ③島の海岸が波などによってけずられる。＜海岸浸食＞



- ① ツバルの場合を想定して考えてみましょう。
次のカードはツバルの環境問題を考える上で関係のあるキーワードです。これらを模造紙の上に置いて、その関係を矢印などで書きこんでみましょう。カードにないキーワードも自分たちで出し合って関係をつなげていってください（※カードのキーワードの中には、実際にはツバルにはあてはまらないものもあります）。
この活動は3～5人程度のグループでやるとやりやすいでしょう。グループでの作業をおこなったら、出来上がった関係図を他のグループとお互いに見合って、交流し、質問などをし合って、考えを深めましょう。

温暖化	CO ₂	地下水のくみ上げ	ゴミ
ライフスタイルの西欧化	汚染	都市化	サンゴ・有孔虫の減少
砂の減少	森林伐採	マングローブの伐採	

【関係図の例】



- ② それぞれのグループで考えた温暖化と水没の関係は実際にもあるのでしょうか？ インターネットでは、さまざまな意見が出されています。みんなで手分けして調べてその要点をまとめ、共通点や相違点を比べてみましょう。
- ③ ホームページなどで調べた意見の中には、ずいぶん食い違う意見もあったと思います。このような場合、わたしたちはその意見をどのように受け取ればいいのでしょうか？ また、なぜそのような違いが生まれてくるのでしょうか？
- ④ あなたが考える「ツバルの環境問題」を新聞にまとめ、他の人と意見交換をしてみましょう。



ツバルの水没問題

地盤沈下が要因ではない

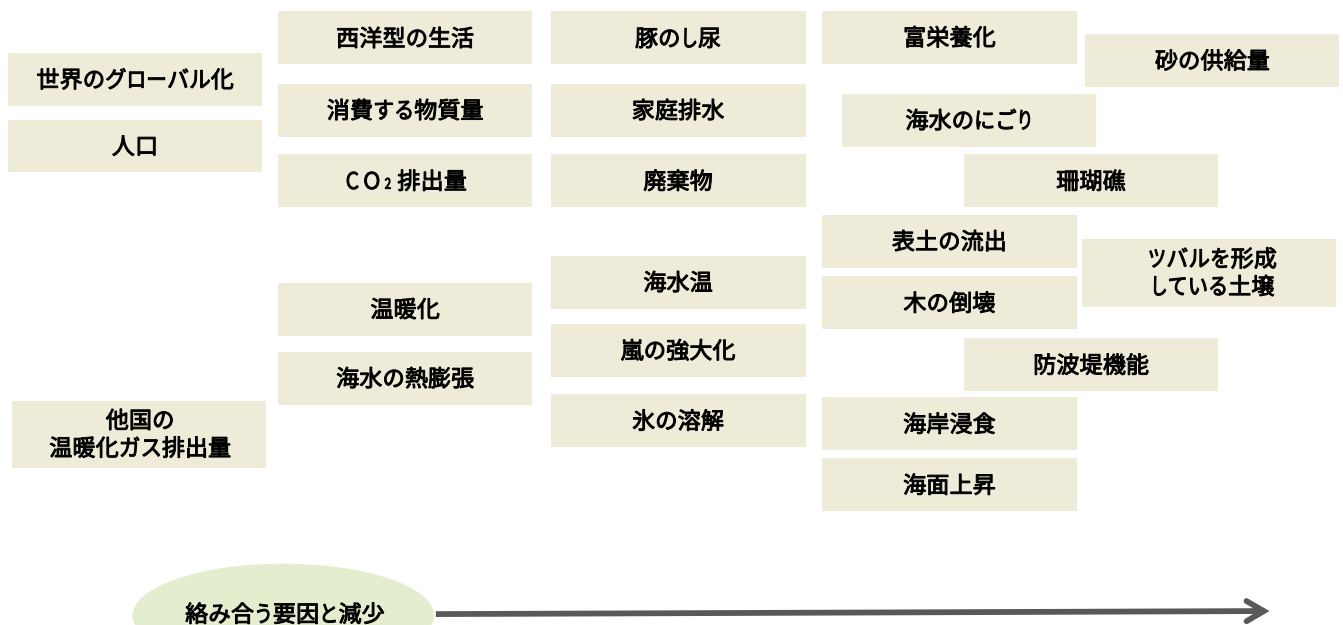
ツバルの相対的な海面上昇は地盤沈下のせいだという主張があります。また、地下水の汲み上げ過ぎが原因だとする説もありますし、「サンゴでできた島はもろくて崩れやすいこと」「米軍がずさんな埋め立て工事をしたこと」を、地盤沈下の要因だと主張する人もいます。

実際はどうか調べてみると、地下水の汲み上げは、汚染問題によりこの数十年間に行われず、雨水利用が中心となっています。また、サンゴでできた環礁の島の沈下は一般的に0.02～0.2mm/年と知られています。ツバルでは1993年から豪州国際開発局が数カ所の計測箇所を固定したベンチマークと比較していますが、潮位計測点の低下は1993～2009年の間に1.1mmで、2002年より行われているGPSによる地盤高さの連続モニタリングでも地盤の沈下は認められていません。

海面水位の変化傾向

一方、フナフティの潮位計による観測によると、1993年～2008年9月の平均潮位上昇は5.9mm/年で、これは地盤の移動や大気圧、海水や大気温度、風速・風力などへの補正を加えた数値なので、ここ15年ほどの海面と陸地の相対的な位置変化は、地盤沈下よりも海面上昇の影響が大きいと言えます。また、IPCC第4次評価報告書では、この100年の全球的な平均値として「海面は17cm上昇」（1961～2003年の全球平均の海面変化トレンドは1.8mm/年）としていることから、ツバルは海面上昇の著しい地域に位置していることがわかります。

しかし、現地での見学、聞き取りや文献調査からは、「温暖化→海面上昇→水没」といった単純な図式で表せるものではないこともわかってきたという見方もあり、それらの主な要因や現象をそれぞれピックアップしてみると下の図ようになります、それぞれが複雑に絡み合っています。





複数の要因が絡み合う

温暖化で海水が熱膨張することに加え、南極やグリーンランド、氷河の氷が溶けることにより海水量が増え、海面が上昇しています。海面が上昇すると、海岸浸食が激しくなります。温暖化に伴う嵐の強大化も海岸浸食を加速します。海岸浸食によって海辺の木があちこちで倒壊し、木が倒れると、その根が抑えていた土壌が流出する上に、嵐や波に対する防波堤機能を失ってますます海岸浸食が進みます。

浸食された土壌はサンゴに積もってその生育を妨げ、濁った海水はサンゴの光合成を阻害します。温暖化に伴う海水温の上昇もサンゴに悪影響を与えます。こうしてサンゴや有孔虫の生育・生存が危うくなり、島を形成する砂の供給量が減っていくのです。

このように、温暖化というグローバルな要因がツバルの海面上昇や海岸浸食、島の土壌の減少に影響を与えていて、現地では実際に海岸浸食や木の倒壊、サンゴ礁の被害などが見られます。

しかし、原因はこういったグローバルな要因だけではありません。人口の増加や生活の西欧化によって廃棄物や家庭排水が増え、適切に処理されていない汚排水が海に垂れ流されることにより、富栄養化を引き起こし、サンゴに藻が生えるなどしてその生育を妨げています。

グローバル＆ローカルな対応

南太平洋に関するデータは計測開始から20年程度のもも多く、長期的なトレンドを断ずることはできませんが、少なくともここ15～20年のデータを見る限り、(1) ツバルでは海面上昇が起こっており、(2) その上昇を説明できる規模の地盤沈下は起こっていないことがわかります。

現在のツバルの状況は多くの要因の組み合わせによる結果です。「要因は1つであるはずだ」という思い込みは捨てなければいけないし、温暖化以外にも要因があるからといって、温暖化が要因であることを否定することもできないのです。



フナフティの満潮時

 寺澤美帆

そして「ローカルな要因による状況の悪化が、グローバルな要因によって今後悪化していく大きな問題への脆弱性を高めている」ことに対して、短期的および中長期的対策を考え、実行していく必要があります。

私たちはグローバルとローカルの両方の要因に対応しなくてはならず、グローバルな要因だけを強調することは、ローカルな問題から目をそらせる危険性があります。また、その一方でローカルな要因だけに帰すことは、本質的な問題解決にはなりません。

今後はますますグローバルな要因の影響が大きくなるでしょう。21世紀中の海面上昇をIPCCは18～59cmと予測し、独ポツダム気候変動研究所は2m近くになる可能性を指摘しています。

ツバルは国際社会に警鐘を鳴らしつつ、自国のローカルな問題に取り組む必要があります。そして、日本を含む世界の国々は「かわいそうなツバルを救うため」ではなく、自分たちのためにも、一刻も早くグローバルな要因の加速を止めなくてはなりません。



ツバルをめぐる誤解

「温暖化によって真っ先に水没するのはツバル」といったような誤解が世間にあることについて、小林泉氏（大阪学院大学教授、太平洋諸島地域研究所理事）はHPへの寄稿という形で氏の意見を述べています。

小林氏は、ツバルの概要や歴史について述べた後、「前号で私は、ツバルの水没現象は人的な環境破壊と社会的圧力が原因であって、とりあえず海面上昇とは無関係だと強調した。それは、何でもかんでも気候変動による海面上昇と結びつけて、危機感を煽るばかりのマスコミ報道に懸念を抱いたからでもある。政治的思惑や環境ブームに乗じた思い込みを排除して実情を把握しなければ、真の問題解決にはつながらない。とはいえ、これだけ気候変動が話題になっているのだから、もう少しツバルの海面上昇や人的環境破壊の内実に触れておこう。」として、首都の都市化による生活排水などでいわゆる「星の砂」をつくっている有孔虫が減少していることや、護岸工事などの影響で海流が変化することの問題を指摘しています。さらに、ゴミ問題の深刻さを訴え、このままではゴミなどの廃棄物や排水によって、人が住めない島になってしまうと警告しています。



石灰質の殻を持つアメーバ様原生生物。普通は1mm以下の大きさで、殻が堆積して石灰岩を形成することがあり、サンゴ礁における炭酸カルシウムの沈殿にも非常に貢献しています。

 ウィキペディア



星砂のビーチ、実は有孔虫の死骸です。

 寺澤美帆



もとはタロイモを栽培していた畑。今は浸水によって栽培は行われていない。

 寺澤美帆



ツバルをめぐる誤解



フナフティの北端に広がるごみの山



そして、「これらはみな、近代国家の建設過程で生じた著しい人口集中が原因していることに疑いの余地はない。ツバルの環礁は地球温暖化という同じ条件下にありながら、フナフティ環礁だけに目立った環境危機が迫っている事実が、何よりもそれを証明している。(同HPより)」とまとめた後、ツバルが西欧の植民地化を経て独立国となったことで、極小環礁という環境の許容範囲を超える国家づくりを押し付けられ、国際協力の名のもとに行われた先進国の支援によって、島の環境にはそぐわない国際基準にあわせた国づくりを歩むことになったことが今の問題の根底にあることを指摘しています。そして最後に小泉氏は「それゆえに私は、これらの現実を素通りして、なんでも海面上昇にすり替えてしまう単純で軽薄な議論の洪水に憂慮しているのである。これでは、島々が“気候変動問題の肴”にされるだけで、住民を本当の危機から救う議論につながるとは到底思えない。」と、この章をまとめています。つまり、ツバルの問題は、単に環境の問題だけにとどまらず、文明論、国家論でもあるのです。





なぜ、わたしたちは「ツバルが水没する」と思っているのだろう？

多くの人がツバルの現実として、見る見るうちに地面から水が湧きだしてきて、集会場の前の広場が池のようになり、家の中までも水が入ってくる様子などをテレビなどの映像で見たことがあるのではないのでしょうか？しかし、このようなマスコミの報道に対し枝廣淳子は「笑顔の国、ツバルで考えたこと」の中でこのように指摘しています。



＜マスコミの情報とのつきあい方・・・(略)・・・日本には、「ツバルといえば、かわいそうな悲劇の島」というイメージが蔓延していることに気づきました。これはマスコミがツバルのある部分だけを切り出して伝えていること、温暖化の話をする人々がその被害の象徴としてよく引用することが原因なのだろうと思います。「ツバルの人は笑顔で幸せそうです」ではニュースになりませんから、報道は温暖化の被害を強調しがちです。ツバルで日本のテレビ局などのコーディネートをしている人が、こう嘆いていました。

「テレビ局が、『海面上昇に逃げまどっている人々の映像を撮りたいんです』と言ってくることもあるんですよ。『人々は逃げまどいていませんから、そんな映像は撮れません』と言っても、『台本にそう書いてあるので、何とかしてください』って。現地に来て実際の様子を見る前に、筋書きを作ってしまったんですね。」そして、実際にツバルに行ったことのある日本人はあまりいませんから、多くの人が(わたしもそうでしたが)マスコミの伝える映像や専門家の説明を「それがすべて正しく、それがすべてであるかのように」受け取ってしまいがちなのでしょう。＞



『笑顔の国、ツバルで考えたこと』枝廣淳子著



わたしたちはマスコミから多くの情報を得ていますが、それらがすべて真実であるという保証はないのです。また、ツバルが水没するかどうかを調べたホームページの場合は、他の人からの情報を鵜呑みにして書かれていたり、書き手の考え方によって一方的な書き方になっていたりしたものもあったのではないのでしょうか？ツバルの場合、海水面の測定記録の蓄積期間が短いため、その上昇が数値として裏づけられないという事情があり、また、海水面自体が一定のものではないため、客観的なデータとして捉えにくいのです。そうした中で、「ツバルが温暖化対策に消極的なアメリカなどを訴えるかも?」というセンセーショナルな話題がもちあがり、興味本位な情報があふれることとなってしまったのです。



フォトギャラリー





第4章

そして未来へ

※ P. 30の「世界各国からの援助・支援」については、2012年作成教材に当該国の他、下記の国の写真とエピソードが掲載されています。



教 材



掲載されている国

アイスランド・キューバ・スウェーデン・ブルンジ	アンゴラ・インド・オーストラリア・英国・エチオピア・エルサルバドル・中国・ポーランド
アイルランド・カタール・グアテマラ・トンガ	アメリカ・ウガンダ・カザフスタン・ベトナム・モロッコ
アルメニア・コンゴ民主共和国・シンガポール・ドイツ	アゼルバイジャン・エジプト・カナダ・カンボジア・スイス・タイ・パプアニューギニア
アルゼンチン・エクアドル・ツバル・バングラデシュ	イタリア・インドネシア・サウジアラビア・チュニジア・パナマ・ホンジュラス・マーシャル諸島
オーストリア・ソロモン諸島・ブータン・ブルネイ	ウズベキスタン・ガボン・ジブチ・スリランカ・デンマーク・ベリーズ・ベルギー
イエメン・ギリシャ・パラオ	キルギス・ノルウェー・パキスタン・フィリピン・ブルガリア・マリ・メキシコ
チェコ・ナイジェリア・マダガスカル	オランダ・セネガル・大韓民国・ドミニカ・ネパール・ボスニアヘルツェゴビナ・ミクロネシア・リトアニア・ルワンダ・ロシア
ギニア・クロアチア・コスタリカ・サモア・タンザニア	イラン・ガーナ・フィンランド・フランス・ベナン・マレーシア・南アフリカ
ウクライナ・ザンビア・モーリタニア	グルジア・スペイン・トルコ・ブルキナファソ・ベネズエラ・ポルトガル・モンゴル
ジンバブエ・ニカラグア・ペルー・ルーマニア	ケニア・スーダン・ニュージーランド・ヨルダン・ラオス

未来を語ろう！～忘れない。日本の強さと世界の優しさ～



2011年3月11日14時46分18秒、東日本大震災が発生。津波により多くの方たちが犠牲になり、多くの街が壊滅しました。この災害で、私たちが学んだことは…？

- ① 3.11の大震災。信じられないような大きな被害を受け、いままで「あたり前」と思っていたことがあたり前でなくなった瞬間でした。みなさんは、どんなことを思いましたか？ まずは自由に話し合ってみましょう。



東日本大震災写真保存プロジェクト

- ② 発災直後から、多くの支援、援助が世界中から寄せられました。また、日本人のモラルの素晴らしさが評価されたという報道も流れました。P. 30～31の資料を見て、どんなことを感じますか？

- ③ 『PRAYFORJAPAN 3.11 世界中が祈りはじめた日』(→P. 31)の中に、こんなメールが紹介されていました。



未来の歴史の教科書に「この大地震で壊滅的な被害を受けたが、日本は見事に立ち直っていった。」というふうに書かれていてほしいです。

さて、みなさんはどんなふうに書かれていてほしいと思いますか？



日本はどうなっていたいでしょう？



みなさんの住む地域はどうなっていたいでしょう？



日本は国際社会の中でどんな存在でありたいでしょう？



そして、世界の国々、この地球はどんなふうになっていて欲しいでしょう？

そうしたことを踏まえ、未来の教科書「2011年3月11日14時46分18秒東日本大震災が発生し、日本は壊滅的な被害を受けました。」の続きを考えてみましょう。

- ④ それぞれが考えた教科書を、みんなで読みあってみましょう。
- ⑤ さて、みなさんが考えた未来の地球、未来の日本、未来の地域を創るために、今、私たちにできることは何でしょう？ グループで話し合ってみましょう。

世界各国からの援助・支援

派遣された救助チーム
専門家チーム

24 カ国/地域
+ **5** 機関

派遣された人数

1,200 名以上

(11月1日現在)

在外公館で受け付けた
義捐金総額

約 **84** 億
5,000 万円

(9月15日現在)

人的支援・物資支援寄
付金等の支援の申し出
(支援意図の表明)

163 カ国/地域
+ **43** 国際機関

(11月1日現在)

外国政府等からの援助
物資・寄付金の提供

126 カ国/地域
国際機関
総額 **175** 億円以上

(11月1日現在)



イタリア

4月中旬より、ローマ市が作成した「日本がんばれ」ポスターが各地に掲示。募金に関する情報を得る電話番号とURLが書かれています。



インドネシア

4月5日、バリ州デンパサールの独立闘争広場で、追悼と復興を祈念するイベント Love and Friendship for Japanが開催され、約800人が参加しました。

エクアドル

4月11日、グアヤキル市の日本公園で市民有志が「希望の灯り」と名付けた灯りに火をつけ、亡くなった方々への冥福を祈るイベントを実施しました。



バングラデシュ

3月12日、アメリカン・インターナショナル・スクール・ダッカ校生徒が、紙でつくった日本国旗にお見舞いと激励のメッセージを記載し、日本大使館に託しました。

ホンジュラス

多くの市民が日本大使館前に貼られた布にメッセージを書き込み、ロウソクをともしました。

パナマ

3月11日、マルティネリ大統領が急きょ日本大使館を訪問し、震災に対するお見舞いとパナマ政府としてできることは何なりと協力したいと申し出を伝えました。

チュニジア

スース市でのサッカー・アフリカ・クラブ選手権の試合で、大きなメッセージボードが掲げられました。

マーシャル諸島

日の丸をかたどったアクセサリー販売による募金活動が行われました。

サウジアラビア

6月、サウジ政府から提供されたLPガスを原資とする「サウジLPガス災害支援基金」が仮設住宅のLPガス料金の補助事業を開始しました。



アルゼンチン

3月18日、ブエノスアイレス市中心部の広場で、被災者支援集會が行われました。



※ ここに紹介した活動はほんの一部です。他にも多くの活動・支援がありますので、下記のウェブサイトを見てみましょう。



外務省ウェブサイト「がんばれ日本 世界は日本と共にある」『世界各地での支援の様子(フォトギャラリー)』

心が温くなるメール ～『PRAYFORJAPAN 3.11世界中が祈りはじめた日』より～

2011年3月11日14時58分、ツイッターに「prayforjapan (日本のために祈る)」という投稿が届きました。

そしてそれ以降、何十万というメッセージが世界中から次々に寄せられました。震災時、一時避難所に避難していた大学生が、そのメッセージをまとめたウェブサイトを立ち上げました。そこには、海外からのメッセージの他に、日本国内で起きた心温まるエピソードも寄せられました。

そうしたメッセージやエピソードは『日本の財産である』と、1冊の本にまとめられています。



東横線の車掌さん、アナウンスで「大変なことになってますが、ここが頑張りどころです。みんなで力を合わせて乗り切りましょう」と。たぶん、マニュアル外だと思う。素敵だ(^^)



物が散乱しているスーパーで、落ちていたものを律義に拾い、そして列に黙って並んでお金を払って買い物をする。運転再開した電車で混んでいるのに妊婦に席を譲るお年寄り。この光景を見て外国人は絶句したようだ。本当だろう、この話。すごいよ日本。



昨日の夜中、大学から徒歩で帰宅する道すがら、とくに閉店したパン屋のおばちゃんが無料でパン配給していた。こんな喧騒の中でも自分にできること見つけて実践している人に感動。心温まった。東京も捨てたもんじゃないな。



バイト中に地震があって、ほぼ満席の状態からお客さんに外に避難してもらいました。食い逃げ半端ないだろうな、と思っていたが、ほとんどのお客さんが戻ってきて会計してくれました。ほんの少しの戻れなかったお客さんは、今日わざわざ店に足を運んでくださいました。日本っていい国。



昨日、韓国のツイッターで話題になった話。韓国駐在の日本人がタクシーに乗ってからお金を払おうとしたら、あっさり拒否されたい。「日本人でしょう？ 日本に帰ったら、このタクシー代を寄付しなさい。」国籍とか政治とかは別にして、一般庶民の考え方はみんな同じ。



避難所で4人家族なのに「分け合って食べます」と3つしかおにぎりをもらわない人を見た。凍えるほど寒いのに、毛布を譲り合う人を見た。きちんと一列に並んで、順番を守って物資を受け取る姿に日本人の誇りを見た。



亡くなった母が言っていた言葉を思い出す。「人は奪い合えば足りないが分け合うと余る」。被災地で実践されていた。この国の東北の方々を、日本を、誇りに思います。



M9.0 世界最大級となったのか。じゃ、今後復興のためのエネルギーも愛も、世界最大級にしないか。



誰かに頑張って欲しいと願うなら、100回『頑張れ』と言うよりも、自分が1回頑張った方が伝わる。私たちが、頑張ろう。



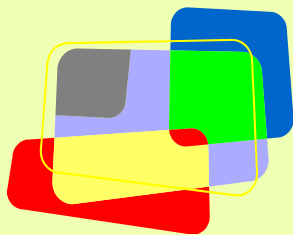
世界各国から勇敢なレスキューチームが東北の被災地へ赴き、危険を顧みずたくさんの人々を救ってくれました。彼らの力強く、そして温かなサポートに心からの感謝を贈りたいと思います。本当にどうもありがとう!!



日本は今まで世界中に援助をしてきた援助大国だ。今回は国連が全力で日本を援助する。

国連からのコメント

参 考 資 料



目で見えるツバル



1978年に独立した時に制定されたこの国旗は、一時期変更されましたが、1997年に政権が交代した際復活しました。青色は、南太平洋、空、希望を表しています。星はツバルの9つの島です。ユニオン・フラッグ（イギリスの国旗）はイギリスの保護領だったことで、政治的、歴史的なつながりを示しています。

● 人口 ● (2009年)



10,000人



127,156,000人



● 面積 ●



25,9km²



377,947km²

● 言語 ●

英語の他ツバル語
(ポリネシア系言語でサモア語に近い) を使用

● 気候帯 ●

熱帯雨林気候

● 民族 ●

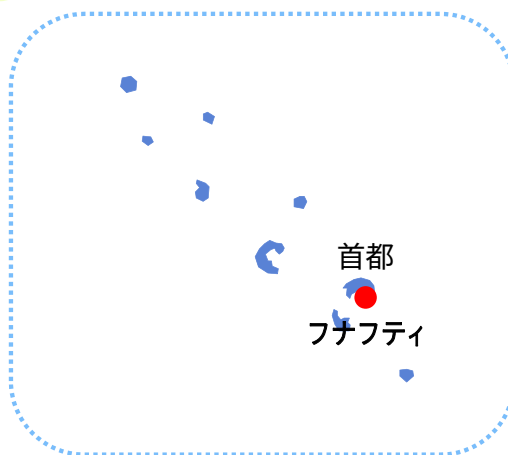
ポリネシア系 (若干
ミクロネシア系が混合)

● 宗教 ●

主にキリスト教 (プロテスタント)
ほとんどの国民がツバル教会に属する

● 通貨 ●

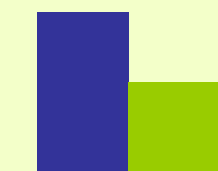
豪州ドル



● 日本との時差 ● +3時間

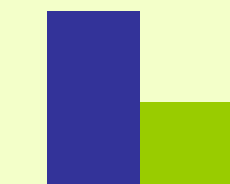


● 平均気温 ●



フナフティ 28.3℃
名古屋 16.6℃

● 年間降水量 ●



フナフティ 3,576.7mm
名古屋 1,730mm

◆国旗:『世界の国旗』吹浦忠正監修 (Gakken)、『世界の国旗と国章大図鑑』荻安望編著 (平凡社) ◆面積・首都・民族・通貨・言語・宗教:外務省ウェブサイト「各国・地域情勢」 ◆人口:世界子供白書2011 (ユニセフ) ◆日本の面積:総務省統計局「日本の統計2011」 ◆気候帯・平均気温・年間降水量:外務省ウェブサイト「探検しよう!みんなの地球」 ◆名古屋の平均気温・年間降水量:愛知県ウェブサイト「一ポケット情報あいちー土地・気象、人口、農林漁業、事業所」 (平成22年) ◆日本との時差:「世界の国一覧表 2007年版」(財団法人世界の動き社)

農業及び漁業が主要だが自給自足的な部分が多い
その他若干の建設業 サービス業



輸送機器 電気機械



2,749米ドル



37,870米ドル



35人



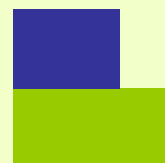
3人



7人 (2009年10月現在)

3人 (2010年 法務省 外国人登録者数)

64年



83年



0.5%



0.0%

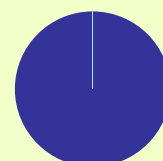


50%



67%

100%



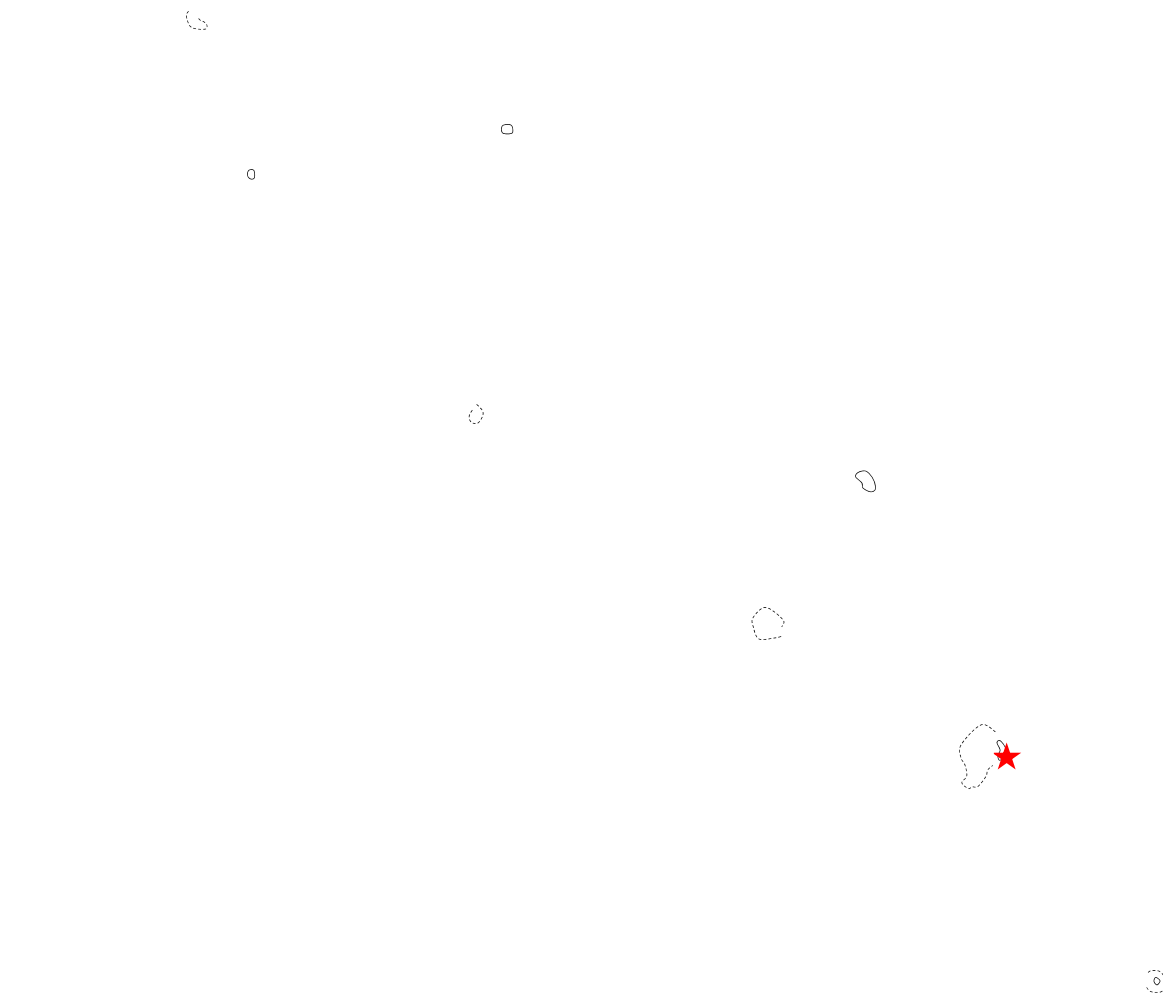
◆主要産業・在留邦人数・一人あたりのGNI:外務省ウェブサイト「各国・地域情勢」◆在日ツバル人数:法務省ウェブサイト「登録外国人統計統計表」◆日本との貿易主要品目:国際機関 太平洋諸島センター「各国の概要」◆都市人口の比率・5歳未満児の死亡者数・初等教育純就学／出席率・人口増加率:世界子供白書2011(ユニセフ)◆出生時の平均余命:WHO世界健康統計2011

ツバル

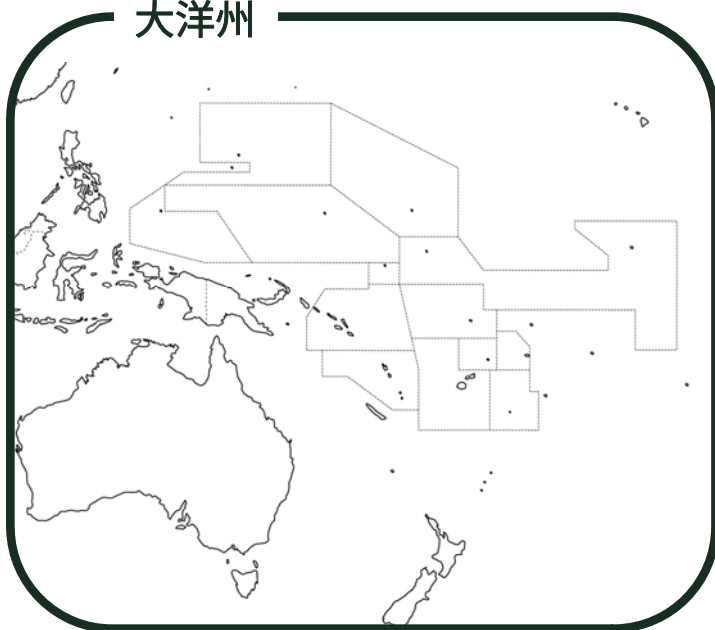
エリス諸島

★フナフティ





大洋州





参考文献・データ等の出典

- 外務省ウェブサイト
 - 「各国地域情勢」 <http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/index.html>
 - 「探検しよう! みんなの地球」 <http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sanka/kyouiku/kaihatsu/chikyu/index.html>
 - 「がんばれ日本! 世界は日本と共にある」 <http://www.mofa.go.jp/mofaj/saigai/episode.html>
 - 「世界各地での支援の様子(フォトギャラリー)」 http://www.flickr.com/photos/mofaj_tohoku/collections/
 - 「ツバル」 <http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/tuvalu/index.html>
- 総務省統計局ウェブサイト「日本の統計」 <http://www.stat.go.jp/data/nihon/index.htm>
- 公益財団法人日本ユニセフ協会ウェブサイト『世界子ども白書2011』 <http://www.unicef.or.jp/library/index.html>
- 国際機構 太平洋諸島センター <http://blog.pic.or.jp/>
- 『PRAYFORJAPAN 3.11世界中が祈りはじめた日』 prayforjapan.jp編 講談社
- 『笑顔の国、ツバルで考えたこと』 枝廣淳子著
- 『キリバス・ツバル ガイドブック』 ツバル国名誉総領事館

ご協力いただいた方たち【敬称略】

- 神谷明子 ● 久野義久
- 滝 栄一 ● 山田達哉



2011年度教材作成チーム

碧南市 犬山市 あま市 長久手市 扶桑町
 特定非営利活動法人 NIED・国際理解教育センター
 公益財団法人 愛知県国際交流協会



世界の国を知る  世界の国から学ぶ
わたしたちの地球と未来

 ツバル 

2012年3月

**発行
編集**

公益財団法人 愛知県国際交流協会
〒460-0001

名古屋市中区三の丸二丁目6番1号
あいち国際プラザ

TEL: 052-961-7904 FAX: 052-961-8045

E-mail: koryu@aia.pref.aichi.jp

URL: <http://www2.aia.pref.aichi.jp>

印刷

トッパン・フォームズ株式会社



